

一般質問

12月定例会の一般質問は、12月2日・3日・4日の3日間行われ、11人の議員が市政全般に対する諸問題について質問をしました。紙面の都合上、主なものを掲載しました。

なお、詳細については2月下旬発行予定の会議録（市役所市政情報コーナー、図書館及び地域公民館、市議会ホームページなどで閲覧可能）をご覧ください。

学校教育

すべての学年で

少人数学級の

実施を

大久保 忠

(日本共産党)

問 本市は、全国的にも早い段階から、少人数学級に取り組んでいる。平成16年4月には小学校1・2年生と中学校1年生で30人学級を実施。平成17年には中学校2年生、平成18年には中学校3年生、さらに平成20年には小学校3年生で34人以下学級を実施してきた。

答 本市は、全国的にも早い段階から、少人数学級に取り組んでいる。平成16年4月には小学校1・2年生と中学校1年生で30人学級を実施。平成17年には中学校2年生、平成18年には中学校3年生、さらに平成20年には小学校3年生で34人以下学級を実施してきた。

環境の充実のため欠くことのできない施策であり、保護者や教職員、子ども達からも歓迎されている。少人数学級編制検討委員会でも、ぜひ実施すべきとの回答が出ている。未実施である小学校4年生から6年生で実施し、全ての学年で実施すべきではないか。

問 少人数学級編制検討委員会の提言に基づいて、平成30年度からの実施に向けた検討をしている。

●学校給食費の無料化を

問 義務教育はこれを無償とするという理念に基づき、子どもの貧困が社会問題となっ

ている中、親の生活状態によって学校給食費が払えず子どもに辛い思いをさせないということ、子育て支援ということで給食費を無料化した自治体が増えている。

群馬県では、南牧村、上野村が、安中市と富岡市では給食費の無料を掲げた市長が当選、前橋市では第3子から給食費が無料となっている。

答 安心して子育てができるよう学校給食費の無料化をすべきではないか。

問 学校給食法及び同法施行令の規定により、保護者負担とすべき経費のうち、食材部分のみ負担をいただいている。今後必要最小限の負担をお願いしたい。

〔その他の主な質問〕
○介護保険の負担軽減

共同募金 市政と共同募金のあり方

三宅 盾子
(まちを住みよくなる会)

問 共同募金会では、赤い羽根と歳末助け合いの募金を地域や学校を通して集めている。

ひとり親世帯、ひとり暮らし高齢者世帯、障害者(児)世帯等への支出は、募金の趣旨に合致していると考ええる。

一方、いきいきサロン、障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会、ふれあい福祉健康まつり、市民ベンチ設置等にも募金が使われている。

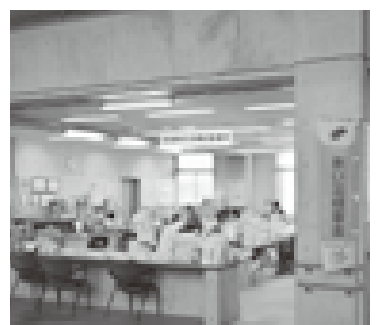
①市は、共同募金の目的をどう把握しているのか。②本来、市が行うべき事業と社会福祉協議会で行うべき事業に共同募金が使われているが、「使途」「区分」が、適切か。

③障害者団体の保護者が汗水流して自分達で施設建設をしている。本市では市単独の助成がない。募金の使途として、この方が適切ではないか。

答 共同募金は、戦後、社会福祉施設等に対する財政補填のための募金活動が制度化されたものである。今日では共同募金会が実施主体となり、社会福祉を目的とする事業活動に幅広く活用されている。

問 障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会などは、全額市の予算で実施すべきもの。募金は、第2の税金となっていないか。また、老人クラブ連合会、自治会にも使われている。

答 「使途」や「区分」については、社会福祉協議会が理事会を経て全て決定している。提言があったことを伝える。



社会福祉協議会

問 「地域公民館利用料の問題」本市では、減免団体の適用範囲が広く、見直しをすべきではないか。障害者団体や明白な公益の仕事については、減免は当然の適用と考える。市民の生涯学習であるクラブ活動団体の利用料は無料を継続すべき。市政の無駄を省くことが先決ではないか。

答 現在、行田市公民館運営審議会が減免団体の見直しについて、議論していただいている。慎重に対応したい。

○学童保育室の受け入れ体制と非課税世帯保育料の無料化